

富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第1回不二越上滝線部会 議事録

(1) 日時：令和8年7月21日（火）13：10から13：45

(2) 場所：富山県防災危機管理センター 3階 研修室

(3) 出席者：

委員	富山県	知事	新田 八朗
	富山市	市長	藤井 裕久
	立山町	町長	舟橋 貴之
	富山地方鉄道（株）	代表取締役社長	新庄 一洋
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局	鉄道部長	秋山 敬介

発言者●→委員、専門委員、オブザーバー

○→事務局

1. 開会

○高橋部長（富山市）

- ・ただいまより、富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第1回不二越上滝線部会を開催いたします。
- ・本日の出席者のご紹介は、お手元の出席者名簿をもって代えさせていただきます。
- ・開会にあたりまして、藤井市長よりご挨拶申し上げます。

●藤井市長（富山市）

- ・皆様にはご多忙の中、富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第1回不二越上滝線部会にご出席いただき、ありがとうございます。
- ・5月18日に開催しました第1回富山地方鉄道鉄道線再構築検討会で、不二越上滝線に関して、昨年度までの検討状況や令和9年度からの「鉄道再構築事業」の実施に向けて、秋頃の計画提出を目指していることをご報告しました。
- ・本日は再構築検討会の下で開催する初の不二越上滝線部会となります。
- ・この度、富山地方鉄道株式会社におかれましては、新たに新庄社長が委員にご就任いただきました。
- ・北陸信越運輸局の秋山鉄道部長には、引き続きオブザーバーとしてのご臨席いただいております。
- ・本日は、不二越上滝線の再構築に向け、より一層具体的な沿線まちづくりや鉄道活性化施策について、議論してまいりたいと思っております。

○高橋部長（富山市）

- ・この先の進行につきましては、富山地方鉄道鉄道線再構築検討会設置要綱に基づき、部長の藤井市長にお願いいたします。

2. 議事

（１）不二越上滝線沿線のまちづくり方針

（２）不二越上滝線の鉄道活性化施策

●藤井市長（富山市）

- ・それでは、議題（１）及び議題（２）について、一括して事務局から説明をお願いします。

○杉木課長（富山市）

「資料１ 不二越上滝線沿線のまちづくり方針」及び「資料２ 不二越上滝線の鉄道活性化施策」について説明

●藤井市長（富山市）

- ・それでは、今ほどご説明しました内容及びその他不二越上滝線再構築事業を総括して、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

●新庄委員（富山地方鉄道株式会社）

- ・この路線については、交通事業者として必ず解決しないといけない課題が二つございますので、情報共有させていただきます。
- ・まず一つは、運行の高頻度化が（鉄道活性化施策の）目玉の一つになっておりますが、社会的にも問題となっている運転手の確保が課題となっております。
- ・車両の確保だけではなく、それを稼働させる運転手の養成・確保という非常に高いハードルがございます。
- ・私自身、ライトレールの運行開始した時に、職員の採用を担当しており、事業規模を拡大するということで、当時は 17 人、18 人の運転手の確保ができましたが、今はかなり運転手の採用難であります。
- ・事業者単独の努力では運転手の確保が極めて困難であり、富山市ともこの危機感を共有し、採用や養成方法、具体的な実施体制について、プロモーションも兼ねて進めていかなければならないと考えております。
- ・もう一点は、この鉄道線は路線バスと並行、競合していることです。
- ・事務局の説明の中で、拠点で接続、二次交通という説明がございましたが、競合とならないように、路線バスと鉄道線の役割分担をしっかりと整理していかなければならないと考えています。

●藤井市長（富山市）

- ・ありがとうございます。運転手、人材の確保は急務だと思っておりますので、富山地方鉄道様のお力をお借りしながら、方策を実行していきたいと考えております。
- ・路線バスとの競合について、バスが便利な中で、鉄道との両立を考えていかなければならず、今回説明があった観点を大事に住み分けしていかなければならないと思っております。その他にございませんか。

●新田知事（富山県）

- ・いろいろご説明いただきましてありがとうございます。富山市の今回の調査、あるいは、様々な方針の策定に心から敬意を表したいと思います。
- ・振り返りますと、富山県は、いわゆるモータリゼーション、最近では少し古い言葉ですけど、車の普及に伴って、車に便利なまちづくりをずっと進めてきました。多分富山市もそうだと思います。
- ・藤井市長の前任の森雅志市長の時代になりまして、公共交通をもう1回見直してみようと、公共交通を軸にしたコンパクトなまちづくりを提唱されて、路面電車を延伸されたり、あるいはライトレールのこと、南北接続の整備など、新しい視点でのまちづくりを進めてこられました。
- ・そして今、藤井市長のもとで、それを継承するところは継承し、さらに進化させるところは進化させてこられて、先ほどご説明いただきました富山市都市マスタープラン「公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に基づいて、今の議題であります、不二越上滝線沿線のエリア別のまちづくり方針もご説明いただきました。
- ・本当にそれぞれのエリアで、その特徴を活かしたまちづくりを考えておられて、ワクワクするような話だと思って聞いておりました。
- ・そして、その中でサービス水準のこと、あるいは施設整備の内容などについてご説明をいただきました。着実に再構築事業に向けた検討が進んでいると受け止めてお聞きしました。
- ・また、今ほど富山地方鉄道社長から、そういったことを考える上でも、やはり留意点もあるということも、事業者の社長としての立場からご説明いただいたところでございます。
- ・今後、再構築事業の実施計画を考えていくこととなりますと、事業の実施に必要な資金、あるいはその調達方法を記載する必要が出てまいります。今の資料2(3)において、施設整備にかかる費用負担の考え方も示していただいたところでございます。
- ・ただ、これについては、事業構造の変更の内容を含めた全体の中で、協議する必要もあろうかと思います。また、不二越上滝線以外の路線との整合についても留意する必要があるかと考えます。
- ・費用負担の基本となる考え方について、先ほど、現状での富山市の思いもお聞きしたところでございますが、ここについては、この部会という場ではなく、全体を見通した検討会において、沿線自治体あるいは鉄道事業者とともに協議をすることにしたいと考えますが、いかがでしょうか。

●藤井市長（富山市）

- ・富山市長として発言させていただきますが、資料2の（3）でお示しした、その拠点だけではないというものと駅舎のようなその地域にお住まいの方が便益を得るものの、二つに分けて考える必要があると思います。
- ・これまで統一的な考え方をしてきました線路設備、電路設備、車両設備などの鉄道施設総合安全対策事業費補助金の対象としてきた性質のものに関して、ネットワーク全体で考えることができるため、（地方負担分を）富山県が半分、残り半分为富山市と立山町で按分する考え方をお示しさせていただきました。
- ・駅舎や新駅、バリアフリー化などは、同じような考え方ではありますが国半分、地方負担の半分は富山県、もう半分は直接便益を受ける市町村で負担する考え方があります。
- ・線路設備や電路設備は今までの考え方を踏襲して単線換算キロで、車両整備は単線換算キロと車両走行キロに基づく負担割合をお示しさせていただきましたが、知事のおっしゃるように、全体の会議で議論を深めさせていただければと思います。

●新田知事（富山県）

- ・藤井市長ありがとうございます。市長のお立場としてのご意見はよく理解したところで、この後、検討会も予定しておりますが、やはり富山地方鉄道鉄道線全体として考えていく方向で、今、我々は考えております。
- ・費用負担の考え方については、今のような切り分けも含めて、今後全体の方針を決める中で考えていけば、全体として整合することになるのではないかと思います。

●舟橋町長（立山町）

- ・富山市の不二越上滝線の費用負担の考え方について、立山線も同じで良いと考えており、つまり藤井市長のご意見にも賛同しております。
- ・富山県に2分の1を負担していただくことになりますので、富山市と立山町だけで決める訳にはいきませんが、不二越上滝線はかなり前に進んでいるため、令和9年度から再構築事業を進めるために、富山市と歩調を合わせ、費用計算をしていきたいと考えています。
- ・本線部会が話がまとまればそちらに合わせ、時間がかかるようでしたら、富山市と歩調をあわせて進めていきたいと思っております。

●新田知事（富山県）

- ・ありがとうございます。舟橋町長のお考えもよくわかります。今、不二越上滝線は一步先を進んでおられるので、このような費用負担の考え方も、藤井市長の現時点のお考えを聞くことができました。
- ・今後、この後に本線の部会、そして全体の検討会の予定もしておりますが、全体の方向性が出たところで、この費用負担については、資料2（3）のような考え方で皆さん合意す

るかもしれませんし、あるいはもう少し全体として考えると別の考え方が出てくるのかもしれない。

- ・それは今後の検討だと思っております、いずれにしても、町長仰るようにゆっくりしているつもりは全くないので、今後検討を加速化していく。その中で、この費用負担の考え方についても、それぞれの自治体の負担になるわけですから、皆で合意して進めていければと考えております。

●藤井市長（富山市）

- ・ありがとうございます。北陸信越運輸局の秋山部長にもご出席いただいておりますので、アドバイスなどございましたら、お願いします。

●秋山部長（オブザーバー）

- ・不二越上滝線に関しましては、資料にあるとおり、具体的な施策が書かれておりますので、このまましっかり準備を進めていただければと思います。
- ・費用負担については、全国どこの路線でも最後まで時間のかかるところでありますので、早め早めに検討していただければと思います。
- ・2分の1の国負担については、我々のほうでしっかりと確保してまいりたいと思っております。

●藤井市長（富山市）

- ・出尽くしましたので、これをもちまして、意見交換会を終了します。

3. 閉会

●藤井市長（富山市）

- ・以上をもちまして、「富山地方鉄道鉄道線再構築検討会 第1回不二越上滝線部会」は閉会といたします。